

2025年
7月号 No.16

サルビア訪問リハビリ新聞

発行日：令和7年7月7日 発行者：医療法人社団英世会 介護老人保健施設サルビア
〒191-0024 東京都日野市万願寺1-18-1 TEL042-589-3270 FAX042-589-3271



PATISSERIE DU CHEF フジウ

認知症カフェ

日野市では認知症の方、家族介護者の方向けの支援として認知症カフェがあります。認知症カフェとは認知症の人やその家族、地域の人が気軽に集い、介護福祉や医療の専門職への相談ができ、同じ境遇の人との相互交流を通して、介護負担の軽減や悩みの解消に役立てる「交流の場」のことです。基本的にはどなたでも自由に好きな時間に参加できる開放的な場となっています。今年の五月に日野市栄町で行っている「あったカフェ」を見学させてもらったので、その様子等の紹介をさせていただきます。

あったカフェの運営は基本的にボランティアの方が中心となって働き、適宜地域包括支援センターの方が支援するという形で行われています。開催場所が小規模多機能施設を利用しており、施設の利用者さんも参加されています。

カフェに入室してみると、ま
ず飛び込んでくるのが珈琲の良
い香り。カフェの入り口では紳
士、淑女が慣れた手付きで珈琲
を準備され、明るい話し声も聞
こえてきます。そして百円を払
い席に座ると暖かく飲み易い珈
琲が心をほぐしてくれます。

今回の見学で私は地域住民の
方が話しているテーブルにお邪
魔させてもらいました。私を入
れて四人。初めて参加されたA
さん、新型コロナウイルスがあ
る程度落ち着いた頃から参加さ
れているBさん、そして昔から
ボランティアとして働くCさん
と同席しました。認知症カフェ
について教えてくれるBさん、
気軽に話し掛けてくれるCさん、
そして地域包括支援センターの
職員も間に入ってくれたおかげ
で自然とその場に馴染む事がで
きました。初めて参加したAさ
んとも素敵な場所であることを
共感。

最後にはAさんとCさんは年齢
が近かった様子で意気投合。素
敵な出会いの場面にも立ち会え
ました。またBさんは認知症状
が出ている友人の対応に関して
認知症カフェの職員に相談がで
き、とても助かったとも話され
ていました。

スーパ―はセルフレジ、ファ
ミレスはロボットによる配膳、
町内会の減少等々人との交流が
減っている世の中です。そのよ
うな中で改めて人との交流でし
か感じる事のできない温かさの
大切さを実感する事ができまし
た。心地よく五感が刺激され、
体も心も温まる「あったカ
フェ」。ぜひ足を運んでみては
いかがでしょうか。



認知症家族介護者交流会

認知症カフェに続き六月には
認知症家族介護者交流会にも参
加させてもらいましたので、そ
の様子も報告させていただきます
す。

認知症家族介護者交流会とは、
認知症の高齢者を介護している
ご家族等が集まり、介護の悩み
を話し合ったり、情報交換を
行ったりする交流の場で、年に
数回、地域包括支援センターが
開催しています。認知症カフェ
のような開放的な場とは異なり、
基本的には登録者のみに参加す
る場となっています。

今回は日野圏域の交流会に参
加しました。二十名程度が登録
されており、普段は概ね十名程
度が参加されています。一人一
人が現状や気持ちを話すという
形で行われています。参加者同
士の会話がより行い易くなるよ
う工夫もされていました。

参加者は現在介護をされている
方、家族が施設に入所されている
方、すでに介護が一区切りついた
方等々、様々な立場の方が参加し
ていました。長く参加されている
事もありお互いの事を理解し、自
身の置かれている立場から相談を
されている様子が伺えました。そ
こには決まったメンバーで継続的
に行う事による家族のような温か
さを感じました。

人生には育児、介護等々初めて
の経験が数多くあります。そこに
は楽しみや成長といった良い事が
ある反面、不安や焦り、苛立ちと
いった面もあります。そのような
時、同じような立場で気持ちを打
ち明けることができる人の大切さ
を私自身も感じます。交流会を通
して改めてその大切さを感じさせ
てもらった機会になりました。辛い
と感じた時、踏み出し易い方向に、
踏み出し易い歩幅で、一歩踏み出
してみてはいかがでしょう。